



春季企画展

くにたち郷土文化館

2021年5月1日(土) ～ 6月13日(日)

観覧無料 休館日 5月13日(木)・27日(木)・6月10日(木)

せき  
がんでい

# 関 頑 亭

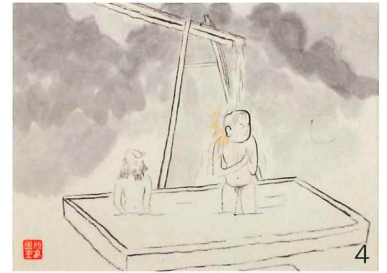
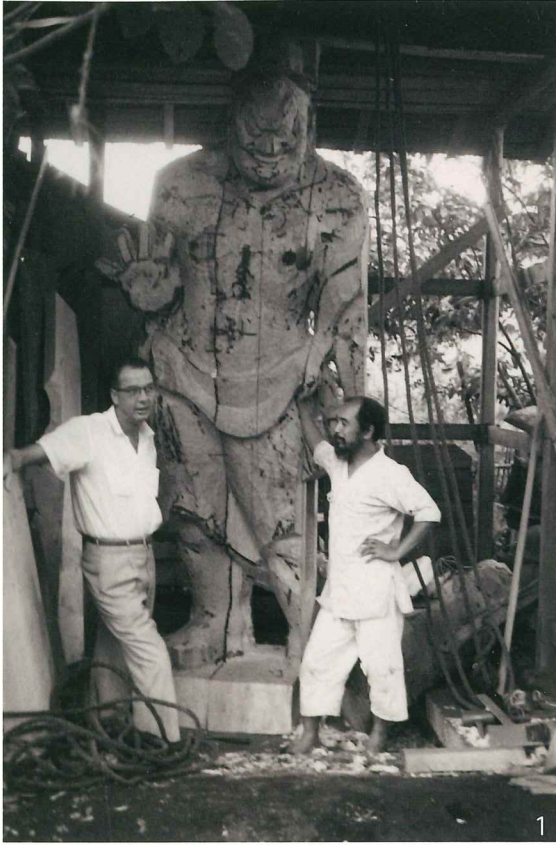
— 人生、飄々と —

ひょう  
ひょう

さ  
ようなら

頑  
亭 先  
生





1. 金剛力士像「吽」を制作する頑亭(右) 2. 地藏菩薩と鯰(2005) 3. ハルピン(作成年不明) 4. 中房温泉 山口瞳と頑亭(作成年不明) 表面作品:雪の晨(1937)

## 関 頑亭 一人生、飄々と。一

2021年5月1日(土)～6月13日(日)

休館日 5月13日(木)・27日(木)・6月10日(木)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

会場 くになち郷土文化館 特別展示室

### 関 頑亭 略歴

- 1919年 谷保村(現国立市)に生まれる
- 1936年 澤田政廣に師事
- 1955年 中野宝仙寺 金剛力士像「吽」制作奉納
- 1961年 府中高安寺 金剛力士像制作奉納
- 1988年 中野宝仙寺 日輪弘法大師像制作奉納
- 2002年 八戸市美術館「縄文の美と関頑亭の世界」展開催
- 2011年 くになち郷土文化館「関頑亭一谷保から国立へ」展開催
- 2018年 たましん歴史・美術館「99歳の彫刻家・関頑亭一声字実相義 耳で見つめ、目で聴く」展開催
- 2020年 5月18日国立市の自宅にて死去



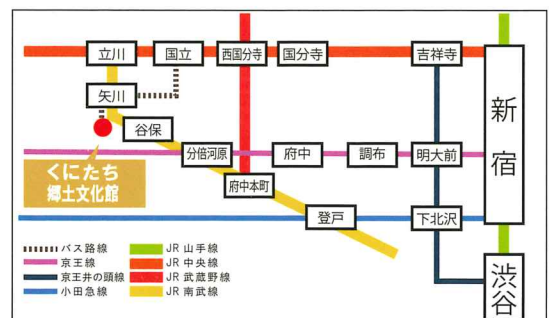
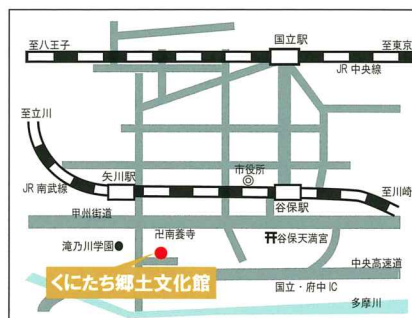
2020年春に101歳で他界された関頑亭氏は、彫刻家であり、画家であり、建築や工芸といった多岐に渡る活動を続けてきた芸術家です。氏は、谷保村(現国立市)に生まれ、17歳で彫刻の大家・澤田政廣に弟子入りし、戦後は戦争で荒廃した中野宝仙寺の復興のため、金剛力士(仁王)像の制作などに力を注ぎました。また、民夫人の営まれた「関民帽子アトリエ」に隣接した住居で制作活動を続けながら、夕刻になるとお酒を飲みに町に出かけ、出会う人々と交友を深めるなど、その姿は多くの人に親しまれてきました。

本展では、関頑亭氏の活動の原点である少年の頃に描いた絵画から、晩年の書や風景画まで、さまざまな作品と共に、氏の文化活動や人々との交友を伝える資料をあわせて紹介します。

「素」の心を大切に、日々呼吸をするように絵を描き、彫刻を作り続けてきた、関頑亭氏の生涯と人となりに想いを寄せてご覧ください。

## くになち郷土文化館

〒186-0011 東京都国立市谷保 6231 番地  
 電話 042-576-0211  
 HP <https://www.kuzaidan.or.jp/province/>



交通情報 ●JR南武線「矢川」駅下車徒歩10分 ●JR中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または「国立泉団地」行、「くになち郷土文化館」下車すぐ